

植木こうじ 事務所だより

植木こうじ

検索

ホームページの他、Twitter、サポーターズ Facebookも!

— あなたの暮らしの相談所です。お気軽にご相談ください —

中野区中野 5-51-2 TEL 070-6488-8119 / TEL & FAX 3228-1055



「原発ノー」の声を中野から

「脱原発中野も」の集会で植木さんが決意

12日、「脱原発中野も」が主催する「放射能が心配 母の日パレード」が行われ400人が参加しました。植木前都議は区議団とともに参加して、代表して「原発ノー」への決意を込めて連帯のあいさつをしました。参加者は新井薬師公園での集会后、杉山公園まで「原発なくせ」「再稼働反対」と、それぞれの思いをアピール。沿道からも声援が寄せられました。

福島第一原発事故では、2年を過ぎた今なお汚染水が増え続け、15万人が避難生活を余儀なくされています。福島再生の展望はまだありません。

「収束宣言」をして、大飯原発の再稼働をすすめた民主党政権。原発推進の自



植木さん

民・公明政権では、原子力規制委員会が、7月にも制定する「新安全基準」で原発再稼働をねらい、首相が中東で原発の売り込みをしています。
植木前都議

は「新たな再稼働をすすめようとする政権の暴走を止めるのは、粘り強い国民の運動です。即時原発ゼロで一致できる人たちが力を合わせる時です。私もそのために頑張りたい」と語っています。

福島県浪江町と植木さん

植木前都議（写真右）は、昨年3月に役場ごと二本松市に避難を余儀なくされている浪江町へ。中野区民から寄せられた義援金を届けました。その時、町民の被害救済の先頭に立つた津島診療所の紺野事務長（町の国保課長・写真中）と関根医師（写真左）と懇談しました。国と東電の情報隠しから放射能汚染のひどい所へ避難したこと、放射能をあびた全町



民の長期にわたる検査の継続などの対策が必要なこと、国と東電の対応への怒りなど、お二人の話は、今の植木前都議の「即時原発ゼロ」の行動に生かされています。



「原発ゼロ」へ 6.2 行動

「首都圏反原発連合（反原連）」、「原発をなくす全国連絡会（日本共産党も運営団体として参加）」、「さよなら原発 1000 万人アクション」の3グループは、6月2日に「ノーニュークスデー」の統一ロゴのもと、都内で一日中行動を展開します。詳細は、植木事務所へ。



子どもと親が安心して暮らせるように 鷺宮2丁目 / 粉川 潔（ゆき）さん

私には保育園に通う2人の子供がいます。原発事故以来、暮らしが変わってしまいました。今まで国内産を選んで食事を作ってきたのに、今ではなるたけ西の食材を選ぶようになり、海洋汚染への不安から魚が食卓に並ばなくなっていました。

それでも、自治体や国が対策をとってくればまだ安心できますが、不安を解消するようないことはほとんどやってくれていません。

そんな中で、共産党は率先して土壌や空間線量の測定をしており、信頼できます。植木こうじさんには、東京都の放射能対策を厚くしてほしいです。子どもと親が安心して暮らしていける街になってほしいので、原発ゼロの運動の先頭に立つ植木さんを応援しています。

5/22 日本共産党 演説会

(水) 有明コロシウムにて (開場 18 時)
どなたでも参加できます。
参加方法がわからない方は植木事務所まで